

定例公安委員会の開催状況

第1 開催日時

令和7年2月28日（金）

第2 出席者

1 公安委員会

竹内委員長、金井委員、川端委員

2 警察本部

本部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、情報通信部長、首席監察官、警察学校長

第3 議事の概要

1 議題案件

令和7年春の組織改編等の概要

警務部長から、令和7年春の組織改編の概要の説明があり、審議の結果、改編内容を原案どおり決定した。

2 報告案件

(1) 令和6年中の警察相談取扱状況

警務部長から、令和6年中の警察相談取扱状況について報告があった。

(2) 警察官の管轄区域外居住の基準の見直し

警務部長から、警察官の管轄区域外居住の基準について、警察署に勤務する採用5年以内の独身警察官の基準及び警部以上の階級の者（副署長及び次長を除く。）の管轄区域とみならず範囲を見直すことにより、管内居住の原則を維持しつつも、警察官個々のワークライフバランスの推進を図る旨の報告があった。

(3) 警察署に対する育児休業支援制度の構築

警務部長から、4月1日から、警察署に勤務する男性警察官が育児休業を取得する場合において、当該育児休業に伴う欠員を補うため、地域部地域企画課機動警ら隊から育児休業支援員を派遣する育児休業支援制度の運用を開始し、育児休業を取得しやすい職場環境の更なる整備を推進する旨の報告

があった。

- (4) 令和6年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案への対応状況

生活安全部長から、令和6年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案への対応状況について報告があった。

- (5) 令和6年中における児童虐待事案への対応状況

生活安全部長から、令和6年中の児童虐待事案への対応状況について報告があった。

- (6) 令和6年中におけるサイバー犯罪の情勢

生活安全部長から、令和6年中のサイバー犯罪の情勢について報告があった。

- (7) 富山県警察ミニ広報紙コンクールの開催結果

地域部長から、2月10日から2月19日までの間に開催された富山県警察ミニ広報紙コンクールの開催結果について報告があった。

- (8) 積雪期山岳遭難救助訓練の実施

地域部長から、積雪期における劔岳や大日岳一帯の地形・積雪等の状況把握を図り、冬山登山技術、危機管理能力及びチームワーク等を強化して、安全かつ迅速な救助活動に資することを目的とし、3月3日から3月12日までの間、北アルプス劔岳、大日岳等において積雪期山岳遭難救助訓練を実施する旨の報告があった。

- (9) 「県境付近での山岳遭難事案における権限行使に関する協定」に基づく活動

地域部長から、長野県内の北アルプスで発生した行方不明事案につき、同県のヘリコプターが出動不能であったことから、「県境付近での山岳遭難事案における権限行使に関する協定」に基づき、2月24日、県警察ヘリ「つるぎ」及び山岳警備隊員が出動し、山中で倒れている行方不明者を発見して収容する捜索救助活動を行った旨の報告があった。

- (10) 令和6年度富山市自動運転実証実験結果

交通部長から、富山市が、自動運転レベル4の導入に向け、令和6年9月10日から同月27日までの間、富山市婦中町地区において実施した、実用化ベースとなるEVバスを使用した実証実験の結果について報告があった。

(11) 保管場所標章制度の廃止

交通部長から、令和7年4月1日から「自動車の保管場所の確保等に関する法律の一部を改正する法律」が施行され、保管場所標章制度が廃止される旨の報告があった。

(12) テロ対策ネットワークとやま定例会の開催

警備部長から、本年4月に開催される大阪・関西万博を見据え、県民の安全安心の確保に向けて、関係機関・団体、民間事業者等が一体となってテロ防止対策を推進するため、それぞれの役割に関する認識を共有するとともに、危機管理意識の高揚を図ることを目的とし、3月3日、テロ対策ネットワーク富山定例会を開催する旨の報告があった。

第4 決裁案件等

- 1 警務案件 2件
- 2 監察案件
- 3 運転免許取消しに関する意見の聴取等結果
- 4 審査請求反論書に対する弁明書の補正（追加）の提出
- 5 無免許運転等に係る事後取消し事案
- 6 国際運転免許証に対する運転禁止処分
- 7 ストーカー規制法に基づく警告及び禁止命令の実施状況
- 8 公安委員会宛て苦情の処理
- 9 富山県公安委員会規則の一部改正
- 10 警察署協議会委員の委嘱